

令和元年9月6日

保護者 様

神崎市立千代田東部小学校  
校 長 中村 美枝子

## 令和元年度 第1回学校評価改善アンケート 「お気づき欄」の主なご意見

「お気づき欄」へのご意見やご要望を書きいただき、ありがとうございました。寄せられた幾つかのご意見やご要望に対し、現状を踏まえた上での回答を記しています。今後もお尋ねになりたいことや、ご不明な点は遠慮なくご連絡ください。

今後、益々学級の人数減。生活科や体育、学活などで、低・中・高の2学年合同の取組も増えていけば、もっともっと心が成長していくと思います。でも、今でも十分色々と考えて教育の工夫がなされていると思います。ありがとうございます。

本校では、学級児童数が少なく、6年間同じ学級で生活します。そこで、異学年による縦割り活動を教育活動の随所に取り入れたり、低・中・高学年という2学年合同での活動にも取り組んだりしています。このような活動を通し、人間関係の幅が広がり上級生がよく下級生のお世話をすることができ、大きな家族のような温かい雰囲気を感じられます。

今後も少人数だからこそできる活動を大切に心の成長にもつなげていきたいと考えています。

ノーゲームデーを増やしてほしい。

今回のSNS等の使い方に関するアンケートから、ゲーム時間の制限や使い方のルールなどの「我が家流ルール」を作っていただいていることが分かりました。このような各ご家庭での取組を尊重するために、学校全体でのノーゲームデーは、月に1回の取組を継続したいと考えています。今後も、各ご家庭でゲーム等の使い方やゲーム以外で、「子供が楽しく過ごす時間」について子供と一緒に話し合い取り組まれるよう、よろしく願います。

東部小では、家庭学習に必要な教科書などは置いて帰る「置き勉」の取組はされないのかなあと思っています。自学などをする時は、必要になるかもですが、普段の宿題には、理科・社会などいらないので…。長い距離を歩いてくる子も多いので、負担減になるといいなと思って、書かせてもらいました。

習字道具、絵の具道具など重たい学習の道具は、教室で保管させています。「国語・算数・理科・社会」の教科書に付随する資料集なども保管しています。本校では、自分で考えて学習する「自主学習」に昨年度から力を入れ取り組んできています。子供たちが取り組んでいる内容には、学校で学んだことの復習や教科書を使った予習・復習が取り上げられています。そのため、教科書やノートは、基本的に持ち帰らせています。今後、持ち帰らせる道具については、学習内容や発達段階も視野に入れ検討させていただきます。